

伴走型ものづくり中核企業育成支援事業

認定企業決定のお知らせ

県は、令和元年度より実施している「伴走型ものづくり中核企業育成支援事業」において、にかほ市で金属部品の精密加工を手がける「株式会社共進」を秋田県コネクターハブ企業として認定し、3月15日に授与式を執り行いました。

コネクターハブ企業とは、県内企業への発注額を高めるなど地域により大きな貢献をしたと認められる企業のことです。県では各種施策を活用した伴走支援により、地域への経済波及効果を生み出す企業への成長を図り、地域経済の活性化や若者の県内就職の促進を図っています。

なお、現在の伴走支援先企業は7社ですが、認定基準の目標を達成したのは共進が初となります。



認定企業コメント //////////////////////////////////////



株式会社 共進
代表取締役社長 齋藤利浩 氏

世の中の景気に大きく左右される、波のある業界で、生産効率をアップするということは永遠のテーマです。県からの伴走支援を受けながら、売り上げが少なくても原価を見直すことで利益をしっかりと出していけるよう、原価生産管理システムを刷新したことが、今回の結果に繋がりました。また、自社だけではできないことも多いなか、仁賀保、本荘地区などの周辺の加工業者さんなどと協力しながらやってきた成果だとも思っています。

弊社はこれから、30代が多くを占め、世代交代の時期になっていきます。若い世代がこういった形を作り上げていくのを楽しみにしながらも、企業として、この地域に働く場所を作り、県外に出た若い人たちが戻ってきやすいような場を作ることを目指していきたいと思っています。

